

中東情勢の悪化による塗料関係に対する影響

立花 敏行*

中東情勢は依然として不安定であり、ホルムズ海峡の封鎖リスクにとどまらず、紅海のパブ・エル・マンデブ海峡においてもイエメンの親イラン武装組織フーシ派による封鎖の脅威が高まっています。これらは、原油やナフサ、石油製品、およびアルミ地金の供給を大きく中東に依存している我が国にとって深刻な問題であり、代替輸入先の検討は政府・産業界における喫緊の課題です。現在は米国からの輸入比率を高めるなどの対応が取られているものの、米国の戦略備蓄量も減少傾向にあり、今後の見通しは不透明な状況です。本稿では、米国产ナフサの比率が上昇した場合の影響や、塗料製造に不可欠なトルエン・キシレンの生産動向について考察いたしましたので、皆様にご報告いたします。

結論：実際に国内のTX（トルエン・キシレン）生産量は2025年の月平均を下回っており、今後米国产ナフサのクラッキング量が増加すれば、シンナーなどの需給タイト化が一層進むと推測されます。この影響は粉体塗料にも及ぶ可能性があります。粉体塗料で最も多く使用されるポリエステル樹脂は、プロピレンやキシレン（パラキシレン、メタキシレン）を出発原料としているため、米国产ナフサの導入拡大は原料不足に直結するからです。一方で、アクリル樹脂塗料はエチレンを出発原料とするため、需給が緩和する方向に向かう可能性があります。しかし、希釈用シンナーの動向を考慮すると、塗料業界全体の調達環境としては厳しい状況が続く見込みです。現在の中東情勢による物流混乱がこの米国产シフトの背景にあるため、一刻も早いホルムズ海峡およびパブ・エル・マンデブ海峡の安全航行が確保されることが、根本的な解決には不可欠といえます。

状況：皆様も報道でご存知の通り、ホルムズ海峡だけでなく紅海のパブ・エル・マンデブ海峡までがイエメンのフーシ派により封鎖の危機に瀕しており、通行料徴収の報道も出ています。この2つの海峡が封鎖されると、日本のエネルギーや化学産業は供給を断たれ、非常に厳しい状況に追い込まれます。国家間の対応は政府に委ねるとしても、民間企業として直近の主要原料の動きを注視しておくことは重要です。少しでも

現状を分かりやすく可視化するため、政府統計や諸団体の公開資料を基に、最新の需給動向をまとめました。

資料1：ナフサの価格動向です。

1. 国産ナフサ価格の決定仕組みは以下の通りです。
国産ナフサ価格は、財務省発表の輸入価格（CIF：Cost Insurance Freight）をベースに算出されます。具体的には、1KLあたりのCIF価格（円換算）の3ヶ月平均に、諸経費として2,000円/KLを加算したものが「国産ナフサ基準価格」として公表されます。なお、実際の公表価格は、比重や為替による微調整が行われたものとなります。
2. 誘導品・塗料製品への価格反映にはタイムラグがありますが、この国産ナフサ価格に連動し、国内で生産される石油化学誘導品は価格交渉が行われます。
ナフサ値上がり時：誘導品メーカーより値上げの打ち出し、
ナフサ値下がり時：購入企業（ユーザー）側より値下げの要求
それぞれの要求は市場環境を見極めたタイミングで実施されますが、概ね同時期になるケースが大半です。
なお、ナフサ価格の変動が川下の誘導品・塗料製品へ反映されるまでには、概ね3ヶ月程度のタイムラグがあるとされています。
3. 直近（2026年）の動向と今後の見通し（私見）
現在、最も重大な局面を迎えているのが足元の価格急騰です。
・2026年1月-3月期：65,700円/KL
・2026年4月-6月期：118,900円/KL（約1.8倍に急騰）
この歴史的な大幅上昇は、石化製品メーカーの企業努力だけで吸収できるレベルを遙かに超えています。そのため、早晩、誘導品メーカーから塗料メーカーに対して価格改定（値上げ）の要求が入ることは確実です。同様に、塗料メーカー側もこのコスト増を吸収することは不可能なため、最終製品への価格改定を要求せざるを得ない状況になると考えられます。また、続く7月-9月期についても10万円/KLを超える高値圏が維持される見通しであるため、お盆明けから9月にかけて、サプライチェーン全体で本格的な価格改定の要求が本格化するものと予想しています。
（※上記の見通しは、あくまで現在の市場デー

* 日本パウダーコーティング協同組合 事務局

タに基づく私見であり、今後の市場環境によって変動する可能性があります。)

資料2：ナフサ分留比率と川中製品への影響

中東よりのナフサの輸入が大幅に減少しており、2026年5月の輸入実績は以下の通りで輸入総量は、1,431,463KLとなっている国別の比率順に国名を挙げています。

①米国	34.86%
②アルジェリア	18.64
③UAE	9.26
④ペルー	6.98
⑤スペイン	5.78
⑥インド	5.03
⑦オーストラリア	3.55
⑧ポルトガル	3.50
⑨イタリア	3.44
⑩シンガポール	2.48
⑪オランダ	2.41
⑫タイ	1.06
⑬韓国	0.60

一方、2025年の通期実績では、①中東：70%、②韓国：9%、③ペルー：7%、④米国：5%、⑤インド：3%、⑥タイ：1%となっていました。

この比較から、足元では米国からの輸入比率が際立って急増している状況が伺えます。

しかし、米国産ナフサの比率上昇にはメリットがある反面、デメリットも大きいのが現状です。

資料2に概略を記載した通り、結論として、米国産ナフサへのシフトは、塗料に不可欠なトルエン (T)、キシレン (X)、および芳香族系の高沸点溶剤の収率 (生産量) を減少させる傾向にあります。また、ナフサ分留の負荷軽減を目的としているかは不明ですが、近年はエチレンとしての直接輸入も行われている模様です。ただし、エチレンはガスであるため、マイナス 100℃ 以下の状態を維持できる特殊な液化ガス運搬船 (タンカー) が必要です。

当然、運送代や保険料は原油・ナフサの輸送よりも高くなり、コストアップ要因となります。さらに、この方法では BTX やプロピレン、その他の重質成分が一切得られません。

以上のことから、TX や芳香族系高沸点溶剤やプロピレン誘導品溶剤を多く使用する「焼付塗装」の分野においては、今後も溶剤の需給タイト感が継続する可能性が高いと考えています。

資料3：トルエン・キシレンの生産動向

石油化学工業協会が発表する生産実績数字の中にトルエン (T) およびキシレン (X) があり溶剤としての使用も多いので、この2品目について実績を追ってみました。また、日本芳香族工業会の公開資料の中にはTXの輸出入の数字も見つけたので合わせて一表にまとめました。

2025年1月-12月の月平均のトルエン、キシレンの生産量は以下の通りで、日本石油化学協会により6月分までの生産量が公開されています。

トルエン：91.7KT/月、キシレン：305.2KT/月でした。中東情勢の悪化が始まった直後の2026年3月の生産量は、トルエン：74.1KT (前年月平均比 80.8%)、キシレンは 278.4KT (前年月平均比 91.2%) です。

4月には影響が出て、トルエン：59.4KT、(前年月平均比 64.8%) キシレン：213.4KT (前年月平均比 69.9%)、5月には備蓄原油の放出や代替調達先からの入船もあり若干回復し、トルエン：72.0KT (前年月平均比 78.5%)、キシレン：245.0KT (前年月平均比 80.3%) となっています。

6月は米国からの調達ナフサも増えたこともあり、トルエン：77.1KT (前年月平均比 84.1%)、キシレン：254.0KT (前年月平均比 83.2%) となっています。

まだまだ需給のタイト感を脱するほどの量には至っていない模様です。

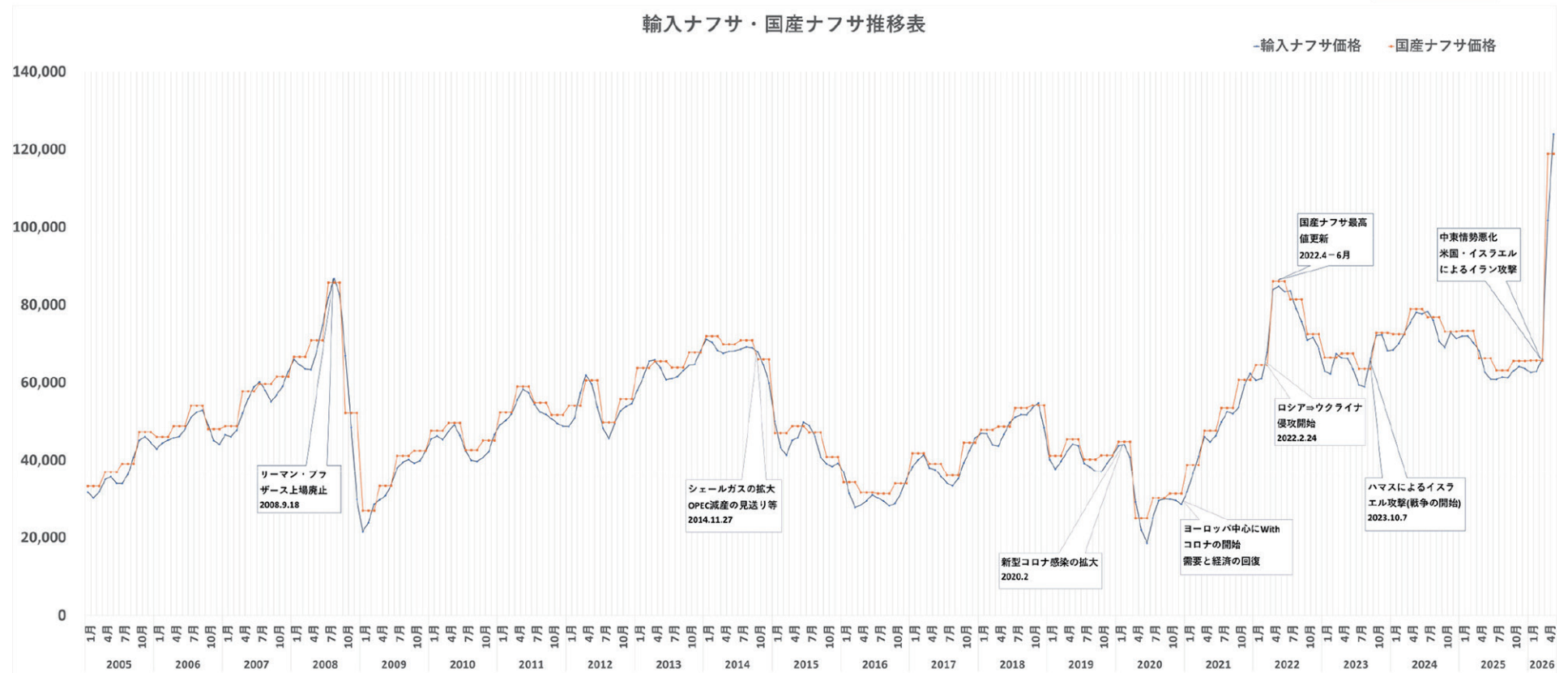
一方で日本芳香族工業会は月次でTXの輸出入量を公開しています。

3月以降の輸出入量は、表にプロットしております。但し、過去の実績については、資料3の2月以前がブランクとなっていますが、HP上では公開されておらず、数字が入手出来ていません。同製品の輸出入は生産とは異なる要因 (契約等) で決まっている感があります。

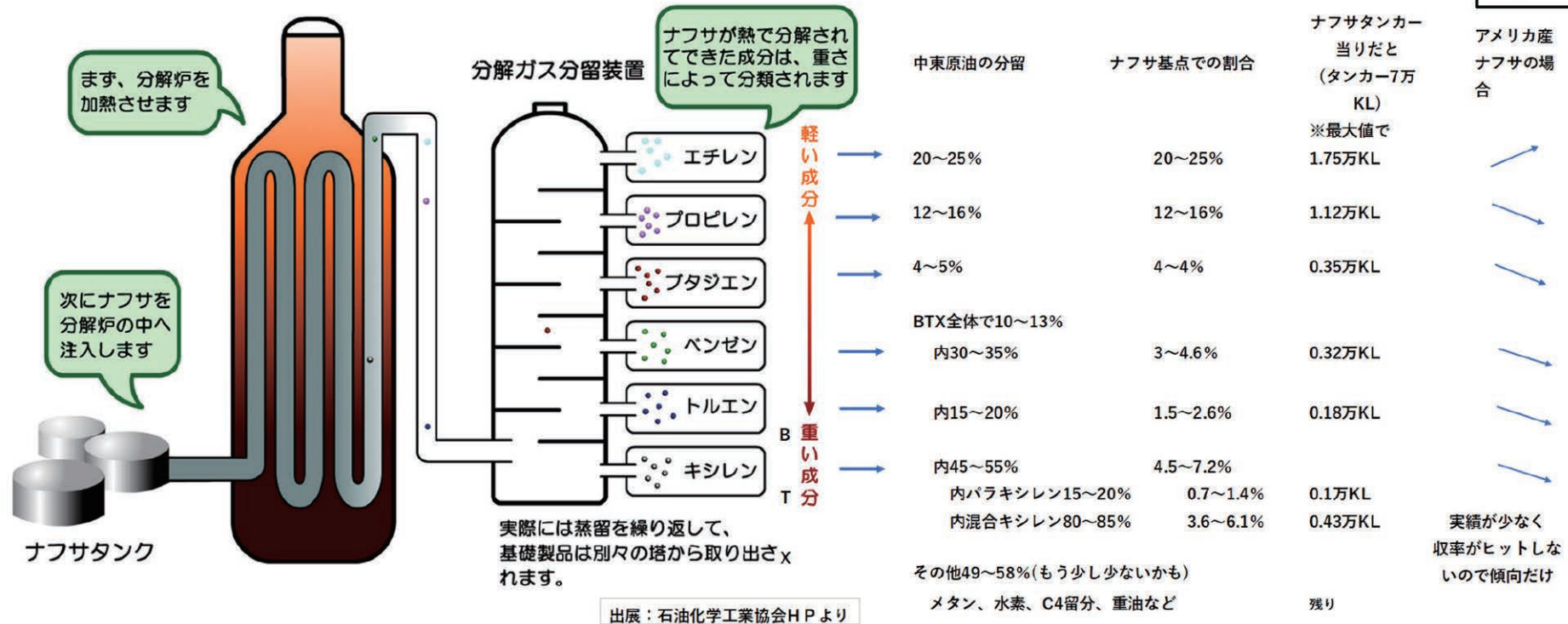
いずれにしても、6月までのTXの生産量は昨年を割り込んでおり、それを補うほどの輸入があるわけでも無い上に、ナフサの代替輸入先の品質差に伴うプロピレンや芳香族系の減量により、需給のタイト感は継続するものと考えてのが自然だと思います。輸入ナフサ価格から計算される国産ナフサ価格は4月～6月、7月～9月ともそれ以前に比べ大幅な価格上昇にあり値上げの打ち出しは必至である状況です。

皆様におかれましては、現状をご理解いただき、調達のご判断の参考として本まとめをご活用いただければと思います。

資料 1



ナフサ分留比率と川中製品への影響



中東情勢の悪化による中東産の原油、ナフサがホルムズ海峡封鎖の状況で十分に確保できず、米国産のシェールオイル、シェールガスから得られナフサの調達が増えている現状、塗料関係への影響について少し考えてみました。

米国産ナフサの拡大は、BTXの需要のタイト感を助長すると思われます。

過去も実績も少なく国内のナフサクラッキング設備は中東原油に合わせたもので米国産の実績は少ないため分留の収率の検索でヒットしません。

米国産のナフサのクラッキング収率は、傾向ですがエチレン以外収率が落ちるようです。特に芳香族(BTX)の含有が少なくなることは心配です。

最近の状況では、ナフサ輸入からエチレン輸入も進めているようであるが、エチレンはガスであり液化輸送タンカーが必要になります。

液化ガスの運搬用のタンカーが必要でマイナス100℃以下の状態で運ばれます。

当然保険や運送代も原油やナフサを運搬するよりかかって来ますので、コストアップ要因となりますし、

BTXやプロピレンその他は得られません。

トルエン・キシレンの生産動向(石化協の月次主要石油化学製品生産実績についてより)

単位：1,000トン、%

資料 3

	品目等	2025/1	2025/2	2025/3	2025/4	2025/5	2025/6	2025/7	2025/8	2025/9	2025/10	2025/11	2025/12	2026/1	2026/2	2026/3	2026/4	2026/5	2026/6	2025合計	2025年平均
国内生産	トルエン	109.1	90.3	87.3	102.6	92.1	70.8	68.1	88.7	104.1	100.2	89.8	96.8	99.3	80.3	74.1	59.4	72.0	77.1	1099.9	91.7
	前月比	+6	-17	-3	+18	-10	-23	-4	+30	+17	-4	-10	+8	+3	-19	-8	-20	+21	+7		
	前年同月比	-3	-4	-5	+14	-13	-31	-30	-11	+2	-6	-14	-6	-9	-11	-15	-42	-22	+9		
	キシレン	323.2	274.1	315.3	330.2	277.5	249.6	268.1	311	307	340.2	325.3	341.1	356.5	307.2	278.4	213.4	245.0	254.0	3662.6	305.2
	前月比	-4	-23	+15	+4	-18	-10	+7	+16	-1	+11	-4	+5	+5	-14	-9	-28	+15	+4		
	前年同月比	-17	-28	-13	-5	-19	-17	-2	+9	+5	+4	-6	+1	-0	+12	-12	-37	-12	+2		
輸出入	トルエン 輸入																0	8.6	6.9	—	
	トルエン 輸出																67.8	0	2	4	
	キシレン 輸入																0	0.6	0	—	
	キシレン 輸出																12.9	0	55	19	

(一社)日本芳香族工業会ホームページでは、2026年として3月、4月、6月の数字のみ公開となっております

エチレンセンターの減産は3月10日前後から中旬に始めているため100%の影響としては、4月からと思われます。
昨年からのピークの半分強！

◎ トルエンの需要構造(AI検索なので若干信憑性に不安も)

- 塗材の製造・希釈用 30～40%
- ガソリン添加用 20～25% ※燃焼効率を上げるためオクタン価調整(ハイオク用)で添加する。
- その他化学原料(異性化用) 40～45% ※ベンゼンやキシレン、医薬品などの中間体製造に使用される。

◎ キシレンの生産に含まれるもの

オルト、メタ、パラの異性体単体(異性化用)の数字と溶剤用の混合の状態での生産量とが含まれていると考えます。
塗料・インキ等の製造・希釈用は需要の10%程度です。

◎ 5月の動向。

エチレンセンターの稼働率は若干の回復(67.3%⇒68.1%)が見られるものの70%を切るレベルで継続して低い。
石化協は、ナフサクラッカーの状況として情勢悪化前の状況に近づいているとしているものの、高価格ナフサのクラッキングによる高価格品の在庫を多く持たないようにしている。
その為、生産過多にならないレベルでの生産を維持している。稼働率としては80%前後と思われる。
トルエンの2025年の平均生産量91.7KTからすると21.5%減の状態であり需給の状態はタイトとなっていると考えられる。
キシレンについても2025年平均生産量305.2KTから245.0KTと19.7%減とトルエン同様にタイト感がある。
TXとも生産増となっているのは定修明けプラントの再稼働があったものの効果が考えられる。

◎ 輸入品数量について

(一社)日本芳香族工業会が公開しているB T X生産・需要実績の数字を使用しています。
輸入量も国内生産を補完できる量の確保には、つながっていないと思われます。
一方で輸出は継続して行われており3月は前年以上に輸出 12KT(確定値ではなくカッコつき)を行っており、「前年 輸出は前年より増」と備考に記載があります。
さすがに4月はトルエンの輸出は0トンとなっていますが、キシレンは67KT(確定値ではなくカッコつき)が実施されているようです。
また、「前年 定修拠点は増」と備考に記載があり供給量としても減の可能性が読み取れます。
5月はXの生産量が増えたものの海外輸出をこの状況で行っており、差し引くと4月より若干の改善程度。Tも生産量上がっているが昨年委の付き兵器よりはかなり少ない。

ガソリンには価格抑制のため補助金が交付されており、元売り各社は、減産の中でもガソリンの収率向上の対応で生産維持。エチレンセンターもトルエンをガソリンに添加用を維持し、結果的に塗料用は減産に繋がっているかも！？
トルエンの転嫁の情報もあるが、重質ナフサの接触分解による高芳香族化を行っているが、アメリカ産ナフサ使用では、芳香族が少なく別途添加が必要となり需要のシフトが起こるではないか！？

2026年8月10日

On demand powder coatings

conall®

コナール

環境にやさしい、小ロット短納期、オンデマンドオーダー粉体塗料・コナール

- 1 ケース **5kg** からの指定色を製造※
- ご希望の色を忠実に再現
- 鮮鋭性・平滑性にすぐれ、美しい仕上がり
- 短納期

用途に応じた、豊富なラインナップ

標準タイプ	スーパーコナール	FL フッ素	屋外用最高級グレード。最高ランクの耐候性を有するフッ素樹脂粉体塗料です。
	ハイパーコナール	FH フッ素ポリエステル	屋外用高級グレード。フッ素樹脂を使いコストパフォーマンスに優れた中間グレード。
	コナール	PK 高耐候ポリエステル	1 ランク上の屋外用。耐候性と付着性のバランスが取れた使いやすい粉体塗料です。
		PU ポリエステル	一般屋外用。平滑性に優れ艶有から 3 分艶有まで調整可能です。
		PH ポリエステル	一般屋外用低温型、160℃×20 分での焼付が可能です。焼付時にヤニが出ません。
		HT エポキシポリエステル	一般屋内用。強靱で鮮鋭性に優れた塗膜です。
		HL エポキシポリエステル	一般屋内用低温型、150℃×20 分での焼付が可能です。
意匠性タイプ	コナール	ウェーブ	意匠性凹凸模様。溶剤系では表現できない立体的な模様で、重厚感と高級感を演出します。
		メタリック	ボンディングタイプ。溶剤系とは違うメタリックで重厚感と高級感を演出し、塗装も容易です。
		スリックスエード	新たな色彩表現となめらかな感触で商品に新しい可能性を開きます。
	コナールトーン	ハンマートーン	ハンマートーン模様。溶剤系でも長く親しまれてきたハンマートーンです。模様再現性は溶剤に比較して容易です。
		リンクルトーン	リンクル模様。縮み、チリメン、リンクルなど溶剤系でも様々な名称で親しまれてきました。粉体の模様は溶剤と比較して緻密で均一になります。
		スネークトーン	スネーク模様。リンクルトーンに似ていますが、まさに蛇革です。色を工夫することで斬新なイメージを与えることができます。
		アンティークトーン	アンティーク模様。粉体塗料独特の模様です。アンティーク、バンビー、フラッシュトーン、ハンマートンなど様々な呼称で呼ばれています。
		キャンディトーン	カラークリヤー。発色・塗装作業性だけでなく塗膜性能にもこだわり、今までのカラークリヤーを凌駕します。
		テラトーン	テラコッタ調模様。南欧素焼風の模様も粉体塗料であれば 1 コートで再現できます。
	チョコナ	各種	ペットボトル入粉体塗料。即日出荷の 100 色カラーバリエーション。粉体塗料をより多くの人に、より多くのものに。1 本 330gx2 本入りでオンラインショップにて販売中。

※ コナールトーンなど一部の塗料を除きます。詳しくはお問い合わせください。

- 樹脂により艶の調整範囲が異なります。詳しくはお問い合わせください。
- 模様系塗料は、塗装設備・機器の種類、膜厚、焼付条件などで模様の状態が変化することがあります。
- メタリックは、塗装機器の種類、膜厚等により輝度やメタリック感が変わる場合があります。
- キャンディトーンは下地が透ける塗料ですので、下地の状態や膜厚により表情が変わります。



塗料・塗装資材の総合商社
小ロット溶剤調色
小ロット粉体製造
塗装機器・設備のコーディネート

化学で人と自然の共生する明日へ



株式会社 三 王 粉体事業所
埼玉県草加市弁天 4-17-18
TEL: 048-931-2001
FAX: 048-931-2141
www.san-oh-web.co.jp
info@san-oh-web.co.jp

快適と信頼が
私たちの商品です。

表面処理の総合商社…



株式会社 **板通**

<http://www.itatsu.co.jp>

本社 〒326-0802 栃木県足利市旭町 553 TEL 0284(41)8181 FAX 0284(41)1250

本部 〒373-0015 群馬県太田市東新町 330 TEL 0276(25)8131 FAX 0276(25)8179

両毛支店/埼玉支店/高崎支店/小山支店/宇都宮支店/水戸支店/東北営業所
フィリピン/タイ/インドネシア/中国

横浜化成株式会社

本 社 ☎108-8388 東京都港区高輪2丁目21番43号 ☎03(5421)8266(大代)
大 阪 支 店 ☎530-0047 大阪市北区西天満5丁目1番9号 ☎06(6364)4981 (代)
千 葉 支 店 ☎263-0001 千葉市稲毛区長沼原町804番地 ☎043(259)2311 (代)
静 岡 営 業 所 ☎422-8067 静岡駿河区南町13番3号(TKビル) ☎054(282)5366 (代)

地球に優しい環境型塗装技術はこれからの優先課題です！！

地球環境に優しい次世代の塗装法 Powder Coating (粉体塗装)

「長さ 17.5m」「重量2.0t」最先端の生産環境におまかせください。

妥協を許さない信念で、高品質を保ち保ち続けます。

株式会社 明希

代表取締役会長 新井 かおる (薫) 代表取締役社長 新井 裕喜

〒675-1202 兵庫県加古川市八幡町野村字蟹草 616-44

TEL 079-438-2737 (代) FAX 079-438-2771 (代)

HP: <http://www.e-orca.net/~meiki/> Email: meiki_qa@e-orca.net



城南コーティング株式会社

樹脂からマグネシウムまでをラインシステム化した多量生産方式を採用

新素材をコーティングする

粉体塗装

電着塗装

溶剤塗装

本 社	〒142-0063	東京都品川区荏原 6-17-16	☎03(3787)0711(代)
上里工場	〒369-0315	埼玉県児玉郡上里町大字大御堂字長久保1450の37	☎0495(34)0801(代)
児玉工場	〒367-0206	埼玉県本庄市児玉町共栄 800-9	☎0495(72)6191(代)

ISO 9001・14001 登録企業

アックでは、塗料・塗装方法・設備・機器の提供はもちろん、塗料専門商社としての経験と知識を活かして、皆様が抱える問題に対し、環境時代に最適な「アイデア」を提案します。

環境時代が求める
エコロジカル・
ペインティングへ



お客様に「信頼と満足」を

株式会社アック

www.a-c-c.co.jp

本社/名古屋市港区十一屋2-12 〒455-0831 TEL(052)381-5599

名古屋・小牧・三河・豊川・弥富・浜松・いわき・山口・東京

塗装会社が、
風土改革コンサル
はじめましたw！

自主的**考動**を育む製造業による働きがい改革

『T-CX』

ツツイ式 企業風土
トランスフォーメーション

自主的に考動できない…

連携できない…

やらされ感…、他人事…

離職が多い…、採用できない…



SDGs、DX、働き方改革をスムーズに運用する為には…

【自主的考動を育むアプローチ】が有効です。

聴く

問う

伝える

待つ

【お客様の声】

- ・社員だけに変化を強いていたことに気づいた。
- ・コーチがいることで実践できるようになった。
- ・ストレス無く、充実した経営ができるようになりました。
- ・家族との関係性も劇的に改善出来ました。

詳しくはT-CXチラシへ！



働きがい改革とわくわくSDGsと粉体塗装のバイオニア

筒井工業株式会社

素材の付加価値を向上する

地球にやさしい粉体塗料

V-PET
Series

高意匠性シリーズ 特殊模様粉体塗料

エポキシ/ポリエステル系

V-PET 特殊模様 サテン

落ち着いた高級感あるサテン調仕上げ

エポキシ/ポリエステル系

V-PET 特殊模様 リンクル

立体的な3分つやからグロスの凸凹模様仕上げ

パウダーフロンシリーズ ふっ素粉体塗料

ふっ素樹脂系

パウダーフロンCW

3分つや〜フルグロスまで光沢調整が可能

ふっ素樹脂系

パウダーフロンSELA

ふっ素樹脂とポリエステル樹脂の二層分離形

…彩りに優しさをそえて…
未来へつなぐ

DNT
DAI NIPPON TORYO

大日本塗料株式会社

お問い合わせは—
●大阪 ☎06-6266-3134 ●東京 ☎03-5710-4505
●小牧 ☎0568-76-5578 <https://www.dnt.co.jp/>
塗料相談室フリーダイヤル 0120-98-1716

粉体塗装のパイオニア。



独自のパルス制御で美しい仕上がりへ

新製品

Pulse Power 9000 シリーズ



Pulse Power9000S
塗料タンクモデル



Pulse Power9000TS
2丁取塗料タンクモデル



Pulse Power9000B
塗料箱モデル



Pulse Power9000TB
2丁取塗料箱モデル

東京営業 : 03-3278-4800
北関東営業所 : 028-662-7641

名古屋営業所 : 052-823-1751
大阪営業所 : 06-6386-6132

北陸出張所 : 0766-26-5131
九州営業所 : 093-631-7464

